

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011001	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題(2時間/回)、事後学習として課題の見直し(1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, プリント教材(1)
第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	Listening 5, プリント教材(5)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 7, プリント教材(10)
第12回	Listening 8, プリント教材(11)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度), プリント教材(12)
第14回	Listening 9, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011002	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>身の回りの様々な話題ので成るテキストから14ユニットを読み、英語力の向上を図るとともに、我々の置かれている状況を知ることを目指す。今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、取る練習をする。また、音声を用いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、ライティング、スピーキングの力を鍛え、英語による発信とコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の基礎力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。文脈に応じて語彙の解釈ができる。基本的な英語を、聞いて理解できる。長い英語文章を読んで、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、理解できる。基本的な英語を用いて、自分の言いたいことをある程度表現できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト(2回)40%、定期試験40%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約8%。  e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>e-learning自学自習(合計30時間)  予習: 英語音声、聞く、或いは、シャドウイングする(1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目取った大意を確かめながら)。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト(予習タイプ)の準備をする。(1h/回)  復習: 前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それを用いた自分の英文を書いてみる。(10m/回)</p>		

キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)
教科書・教材・参考書/Materials	CONNECTION 2, Milada Broukal 他2名, Shohakusha / Cengage Learning, ¥1,800 + 税。 第1回目の授業の最初に教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Robots.
第2回	Unit 2 The Shape of the Face
第3回	Unit 3 Killer Bees
第4回	Unit 4 Celebrating Fifteen
第5回	Unit 5 A Folktale
第6回	Unit 6 Lightning
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(30分程度) プリント教材
第8回	Unit 7 Potatoes
第9回	Unit 8 Right Brain or Left Brain?
第10回	Unit 9 Louis Braille
第11回	Unit 10 Laws about Children
第12回	Unit 11 The World's Most Unusual Millionaire
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(30分程度) Unit 12 Delicacies
第14回	Unit 13 Corn Flakes
第15回	Unit 14 The Persian New Year
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011003	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新聞記事の読解を通して、今、日本や世界で何が話題、問題になっているのか知見を広げていきます。また、各課で取り上げられたテーマに対して自身の考えを表現していく授業です。		
授業到達目標/Course goals	1. グローバルの視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えること能力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト(2点×10=20点)+定期試験40点+e-learning教材学習テスト40点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前に教科書を読んでおくこと。(2h/回) 復習を通して、授業で解説した従業な概念を理解するようにしてください。(2h/回)		
キーワード / Keywords	News		
教科書・教材・参考書 / Materials	Meet the World English through Newspapers 2020 (成美堂) 2,000円+税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は必ず予習をして臨んで下さい。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction
2	Unit 1 Japanese companies in rural areas facing difficulty in hiring graduates
3	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Foreign visitors go on record shopping spree
4	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Niigata rice exports to China start
5	Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 India plans manned space mission by 2021
6	Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Saudi teenager 'under the care' of U.N. agency
7	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 Shenzhen Switches to electric taxis
8	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Frog calls may help improve telecom technology
9	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Japan to power fishing boats with Toyota's hydrogen fuel cells
1 0	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Study: Greenland ice melting four-fold faster than decade ago
1 1	Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Domestic firms eye Africa's geothermal power sector
1 2	Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 Female birds prefer smarter partners
1 3	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12 Auto tech shifting focus to user experience
1 4	Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Labor shortages force industry reforms
1 5	Unit 14 Conservation work on Tutankhamun tomb unveiled 総復習
1 6	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011004	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日2限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業の前半では、英語でのEmailの書き方を学び、Emailの構成、よく使用する表現、書き言葉と話し言葉の違いに焦点を当てながら授業を進める。また、文法指導も同時に行い、英語の基礎をしっかりと固める。 後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	E-mailの構成、表現を身につける。 書き言葉と話し言葉の違いを説明できる。 プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を身につける。 英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回): 40% 授業中の小テスト: 15% 授業の参加度: 25% 期末テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業までに動画を視聴し、必要であれば課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	E-mail, Presentation		
教科書・教材・参考書 / Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y e-learning自学自習（合計30時間） 予習：事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。（1時間/回） 復習：ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。（30分/回）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう	A B
第2回	E-mailの書き方（1） 先生に送るE-mailを想定し、構成について調べる 調べた結果と解説をもとに第1回目の授業で書いたE-mailを修正する	A B
第3回	E-mailの書き方（2） 書き言葉と話し言葉の違いについて学ぶ 教員が用意した問題を通して、先生に送るE-mailの表現として適切でないものを選び、適切なものに修正する 第2回目の授業で修正したE-mailを先生に送るE-mailの表現として適切なものを書き換え、修正する	A B
第4回	E-mailの書き方（3） E-mailのタイトルのつけ方について学ぶ 解説後、第3回目の授業で修正したE-mailに適したタイトルを考える ペアになり、相互評価する	A B
第5回	E-mailの書き方（4） E-mailの返信の書き方について学ぶ 教員が用意したお題を受けて返信を書く（グループで考える） グループ間で相互評価する	A B
第6回	e-learning教材学習テスト（1回目） プレゼンテーション（1） 論理的な構成について学ぶ 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第7回	プレゼンテーション（2） 論理的な構成、よく使う表現について学ぶ グループで意思力について考え、英語で2分間話す	A B
第8回	プレゼンテーション（3） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第9回	プレゼンテーション（4） よく使う表現について学ぶ グループでプレゼンテーション用の台本を作成する	A B
第10回	プレゼンテーション（5） 英語の発音、態度、資料の作成方法について学ぶ プレゼンテーションの練習をする 資料を作成する	A B
第11回	発表 グループで英語のプレゼンテーションを行う 相互評価を行う	A B
第12回	e-learning教材学習テスト（2回目） プレゼンテーション（6） 振り返り 他者のフィードバックをもとに個人、グループで振り返りを行う 1人でプレゼンテーションを行うトピックを選び、プレゼンテーションの台本を作る	A B
第13回	プレゼンテーション（7） よく使う表現を学ぶ 1人でプレゼンテーションの台本を作成する	A B
第14回	発表 各自がプレゼンテーションを英語で行う	A B
第15回	総復習と振り返り アンケートの実施	A B



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011005	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>ビジネス界の最近の話題を取り上げた15ユニットから成るテキストを読み、英語力の向上を図るとともに、我々の置かれている状況を知ることを目指す。今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、取る練習をする。また、音声を用いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、ライティング、スピーキングの力を鍛え、英語による発信とコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報、英語経由で最も早く数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の基礎力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。文脈に応じて語彙の解釈ができる。</p> <p>基本的な英語を、聞いて理解できる。</p> <p>長い英語文章を読んで、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、理解できる。</p> <p>基本的な英語を用いて、自分の言いたいことをある程度表現できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト(2回)40%、定期試験40%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約8%。</p> <p>e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>e-learning自学自習(合計30時間)</p> <p>予習: 英語音声、聞く、或いは、シャドウイングする(1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目取った大意を確かめながら)。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト(予習タイプ)の準備をする。(1h/回)</p> <p>復習: 前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それを用いた自分の英文を書いてみる。(10m/回)</p>		

キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)
教科書・教材・参考書/Materials	Business Sense, Andrew E. Bennett, NAN'UN-DO, ¥2,100+税(CD付き) 第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 FedEx - An Express Courier Legend
第2回	Unit 2 The Students Who Started Google
第3回	Unit 3 Emotional Intelligence in the Workplace
第4回	Unit 4 Toyota - R&D Powerhouse
第5回	Unit 5 Michael E. Porter - Management Guru
第6回	e-learning教材学習テスト1回目(30分程度) Unit 6 Harley- Davidson - A legend Rolls On
第7回	Unit 7 Sporting Troubles - The Financial Fall of Leeds United
第8回	Unit 8 Women in Business - Challenges and Triumphs
第9回	Unit 9 Fighting African Poverty with Cell Phones
第10回	Unit 10 The Creative Vision of Walt Disney
第11回	Unit 11 Tata - India's Mega Group
第12回	e-learning教材学習テスト2回目(30分程度) Unit 12 Gig Banks, Big Problems
第13回	Unit 13 The spending Habits of the Super Rich
第14回	Unit 14 The Story of Marvel Comics
第15回	Unit 15 Ben and Jerry's - Ice Cream and Socail Activism
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011006	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) 世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。 (2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Course goals	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験25%、小テスト、出席、授業への取り組み35%、e-learning教材学習テスト(3step・Power Words) 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間)、授業前のテキストの予習(1時間/回)、次回小テストのための復習(30分/回)		
キーワード / Keywords	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書 / Materials	CNN10- Student News -Vol.8 (Asahi Press)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回、予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中に指示		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (9/29)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明
第2回 (10/6)	CNN10- Student News-Vol.8: テレビニュース英語とは Unit 1 Sec1
第3回 (10/13)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 1 Sec2
第4回 (10/20)	CNN10- Student News- Vol.8: Unit 2 Sec1
第5回 (10/27)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 2 Sec2
第6回 (11/10)	e-learning教材学習テスト1回目 CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 5 Sec1
第7回 (11/17)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 5 Sec2
第8回 (11/24)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 7 Sec1
第9回 (12/1)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 7 Sec2
第10回 (12/8)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 10 Sec1
第11回 (12/15)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 10 Sec2
第12回 (1/5)	e-learning教材学習テスト2回目 CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 12 Sec1
第13回 (1/12)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit12 Sec2
第14回 (1/19)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 15 Sec1
第15回 (1/26)	CNN10- Student News-Vol.8 : Unit 15 Sec2
第16回 (2/2)	期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011007	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (G(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、IELTS及びTOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を正確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを作成や発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト: 40% 日頃の学習状況: 40% 中間・期末課題: 20% 日頃の学習状況には、小テストのスコア、課題の提出状況、授業参加態度が含まれる。 上記の基準で60%以上の取得が合格となる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30 時間)</li> <li>・ 予習: LACSにアップロードする電子資料や動画、ウェブサイトを使って準備学習を行う(1時間/回)</li> <li>・ 復習: 授業で配布されたハンドアウトを再読し、理解を確実にするよう努める(1時間/回)。</li> </ul> この予習・復習は、毎回、授業冒頭で行う小テストを受ける上で前提となる。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。 参考書等は、講義中に提示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 9/30	オリエンテーション & 配布資料1
第2回: 10/7	配布資料2
第3回: 10/14	配布資料3
第4回: 10/21	配布資料4
第5回: 10/28	配布資料5
第6回: 11/4	配布資料6
第7回: 11/11	e-learning教材学習テスト (1)
第8回: 11/18	配布資料7
第9回: 11/25	中間課題
第10回: 12/2	配布資料8
第11回: 12/9	配布資料9
第12回: 12/16	配布資料10
第13回: 1/6	e-learning教材学習テスト (2)
第14回: 1/13	配布資料11
第15回: 1/27	配布資料12
第16回: 2/3	期末課題

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011008	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (G(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室 / SGHSS Call Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日13:00以降 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、基礎的な種々の速読スキル、リスニングストラテジーを身につけることができるようになる。また、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることができる。さらに、動詞の中核イメージを理解し、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につけ、コミュニケーション活動に活かすことができるようになる。併せて、英語という個別言語の特徴を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	評価は、e-learning学習(3Step + Power Words)(40% 2回分)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 3StepとPower Wordsを用いてのe-learning学習は、2回のe-learning教材学習テストでもって評価する。1回目は、11/11、2回目は1/6に実施されます。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回取り上げる動詞の基本イメージを理解するアプリを通して、英文をアウトプットできるように練習すること。この練習を通して、毎回実施される小テストに備えること。併せて、指定されたe-learning教材学習を定期的に行うこと(合計30時間)。これらの学習のためには、毎回2.0h程度の学習が必要になる。授業では、準備なしの状況での速読、速聴を実践するので復習を丁寧に行い、コミュニケーション能力を高める努力をすること。		
キーワード / Keywords	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書 / Materials	Better Health for Every Day (金星堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回、復習を行うこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明
第2回	第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), What country is the fattest in the world?
第3回	第3回 速読(phrase reading)とWhat do you know about sleep talking?
第4回	第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), Why ate bug bites dangerous?
第5回	第5回 速読(phrase reading) What kind of bacteria can be found in the Great Barrier Reef?
第6回	第6回 Turn-taking (1), How much caffeine can we take?
第7回	第7回 速読(phrase reading)とペアワーク(3), Turn-taking (2) 1回目のe-learning教材学習テスト
第8回	第8回 速読(phrase reading)とWhat can happen when you are to clean?
第9回	第9回 速読(phrase reading)とペアワーク(4), Current Issues
第10回	第10回 速読(phrase reading)とペアワーク(5) Why do many of us develop fear of heights with age?
第11回	第11回 速読(phrase reading)とペアワーク(6), What are the dangers of a sweltering summer?
第12回	第12回 速読(phrase reading)とWhich makes a better athlete, being a night owl or an early bird?
第13回	第13回 Information gap practice (pair work (7) 2回目のe-learning教材学習テスト
第14回	第14回 ELTS Writing入門
第15回	速読(6)とsummarizing まとめ



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011009	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2, 水5, 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	このクラスは、ハイブリット形式の授業となる。90分の前半、あるいは後半をCALL教室で指定されたe-learning教材(授業外に指定されるe-learning教材とは別の教材)を学習してもらう。残りの半分の時間は、普通教室にて、対面型の授業を行う。具体的な授業の進行の方法は、第1回目に説明する。 対面型では、任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。		
授業到達目標/Course goals	1) 様々な話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英字新聞の英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、 プレゼンペーパー等の提出物10%、 授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト): The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」(南雲堂)1700円		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーク）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	Reading（テキストUnit 1） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第3回	Reading（テキストUnit 2） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第4回	Reading（テキストUnit 3） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第5回	Reading（テキストUnit 4） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第6回	Reading（テキストUnit 5） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第7回	e-learning 教材学習テスト1回目 e-learning 学習（English for Nursing Science）
第8回	Reading（テキストUnit 6） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第9回	Reading（テキストUnit 7） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第10回	Reading（テキストUnit 8） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第11回	Reading（テキストUnit 9） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第12回	Reading（テキストUnit 10） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 e-learning 学習（English for Nursing Science）
第14回	Reading（テキストUnit 11） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第15回	Reading（テキストUnit 12） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011010	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2, 水5, 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	このクラスは、ハイブリット形式の授業となる。90分の前半、あるいは後半をCALL教室で指定されたe-learning教材(授業外に指定されるe-learning教材とは別の教材)を学習してもらう。残りの半分の時間は、普通教室にて、対面型の授業を行う。具体的な授業の進行の方法は、第1回目に説明する。 対面型では、任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。		
授業到達目標/Course goals	1) 様々な話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英字新聞の英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、 プレゼンペーパー等の提出物10%、 授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト): The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」(南雲堂)1700円		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーク）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	Reading（テキストUnit 1） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第3回	Reading（テキストUnit 2） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第4回	Reading（テキストUnit 3） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第5回	Reading（テキストUnit 4） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第6回	Reading（テキストUnit 5） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第7回	e-learning 教材学習テスト1回目 e-learning 学習（English for Nursing Science）
第8回	Reading（テキストUnit 6） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第9回	Reading（テキストUnit 7） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第10回	Reading（テキストUnit 8） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第11回	Reading（テキストUnit 9） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第12回	Reading（テキストUnit 10） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 e-learning 学習（English for Nursing Science）
第14回	Reading（テキストUnit 11） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第15回	Reading（テキストUnit 12） e-learning 学習（English for Nursing Science）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011011	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	毎回、学生生活にとって身近な話題を取り上げ、eメールを使った読解・作文と会話文を使った聴き取り・発話を行う。基礎的な語彙や文法に重点を置いた読解・作文を行いつつ、音声規則やシャドーイング等を取り入れた聴き取りや発話を行うことで、コミュニケーション活動に活用できる英語力を向上させる。最終的には、適確な文章構成に沿った作文や発表を行う。また、工学部を対象としたクラスであるため、定期的に、数字や情報、テクノロジーに関わるトピックを扱う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な音声規則を理解し、効率的にリスニングとスピーキングができるようになる。</li> <li>・学生生活に活用できる基礎的な語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・指定されたテーマに沿って自分の意見を簡潔に述べるような作文や発表ができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト: 40% 日頃の学習状況: 40% 中間・期末課題: 20%  日頃の学習状況には、小テストのスコア、課題の提出状況、授業参加態度が含まれる。上記の基準で60%以上の取得が合格となる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30 時間)</li> <li>・ 予習: LACSにアップロードする電子資料や動画、ウェブサイトを使って準備学習を行う (1時間 / 回)</li> <li>・ 復習: 授業で配布されたハンドアウトを再読し、理解を確実にするよう努める (1時間 / 回)。</li> </ul> この予習・復習は、毎回、授業冒頭で行う小テストを受ける上で前提となる。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に、成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 9/30	オリエンテーション & 配布資料1
第2回: 10/7	配布資料2
第3回: 10/14	配布資料3
第4回: 10/21	配布資料4
第5回: 10/28	配布資料5
第6回: 11/4	配布資料6
第7回: 11/11	e-learning教材学習テスト (1)
第8回: 11/18	配布資料7
第9回: 11/25	中間課題
第10回: 12/2	配布資料8
第11回: 12/9	配布資料9
第12回: 12/16	配布資料10
第13回: 1/6	e-learning教材学習テスト (2)
第14回: 1/13	配布資料11
第15回: 1/27	配布資料12
第16回: 2/3	期末課題

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011012	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)、必要最低限の英語(及び米語)、を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。 習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。 各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。 英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、e-learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。(2時間/回)		

キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	e-learning教材学習テスト（1回目）、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験  上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011013	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (F(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題(2時間/回)、事後学習として課題の見直し(1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, プリント教材(1)
第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	Listening 5, プリント教材(5)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 9, プリント教材(10)
第12回	Listening 10, プリント教材(11)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度), プリント教材(12)
第14回	Listening 11, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011014	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (F(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ねらい: 簡単な英語で書かれたテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、英文の理解を深めます。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	到達目標: 大学入学時までに培われたきた総合的な学力を前提に辞書なしでもテキストの英語をよめるようになることを目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験60%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭な所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード / Keywords	コナン・ドイル シャーロック・ホームズの中から二作品を問題を読みながら、作品の理解を深めてゆく。併せて、プリントを使用した学習も行う。		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージラーニング株式会社) 第一回目の授業で教室にて販売します。 プリント		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	定期試験の受講資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	The Red-Headed League Introduction 毎回プリントの学習を行う
第2回	Unit 1 An Easy Job
第3回	Unit 2 Mr. Wilson Is Put to a Test
第4回	Unit 3 A Job Suddenly Ends
第5回	Unit 4 Holmes Gathers Information
第6回	Unit 5 Setting the Trap
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6 Holmes Explains the Plan
第8回	Introduction The Adventure of the Copper Beeches
第9回	Unit 7 A Job with Strange Requirements
第10回	Unit 8 The Work Begins
第11回	Unit 9 A Strange Observer
第12回	Unit 10 Miss Hunter Looks Around
第13回	e-learning教材学習テスト2回目テスト Unit 11 Mr. Holmes Has an Idea
第14回	Unit 12 Mr. Rucastle 's Terrible Fate
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011015	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (F(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスの国際化があらゆる分野に浸透してきた昨今、企業によってはたとえ自分は海外に出張したり、駐在したりしなくても、外国人のクライアントが来社したり、英文メールが送られてきたりして英語でやり取りせざるを得ないという職場環境が増加傾向にあることは衆目の一致するところである。本講座は、将来そうした領域でも対応できるビジネスパーソンを目指しつつ、実践的なビジネス英語の習得を目標とするものである。		
授業到達目標/Course goals	英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。 実用英語を習得することによって、現状以上に英語発話力を向上させることができる。 英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、e-learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。(2時間/回)		
キーワード / Keywords	速読、直読直解、ビジネス英会話、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業時にハンドアウト教材を配布する。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し毎日のトレーニングを継続させることによって、実践的なビジネス英会話を含む実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケート、ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎固め(1))
第2回	ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎固め(2)
第3回	ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎固め(3)、Unit 1: 現状を報告する(1)
第4回	Unit 1: 現状を報告する(2) / 数の英語(位取りの違いに慣れる)、Unit 2: アドバイスを求める(1)
第5回	Unit 2: アドバイスを求める(2) / チャンツ / メールライティング講座(ビジネスで使うメール)
第6回	Unit 3: 手伝ってもらおう(1)
第7回	e-learning教材学習テスト(1回目)、Unit 3: 手伝ってもらおう(2) / ビジネスマナー講座(外国人同僚との意思疎通)
第8回	Unit 4: 食事に誘う(1)
第9回	Unit 4: 食事に誘う(2) / チャンツ
第10回	Unit 5: プレゼンテーションを始める(1)
第11回	Unit 5: プレゼンテーションを始める(2) / 数の英語(金額・電話番号の読み方はここに注意!)
第12回	Unit 6: 本題について説明する(1)
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目)、Unit 6: 本題について説明する(2) / チャンツ / メールライティング講座(全体の構成を考える)
第14回	Unit 7: プレゼンテーションをまとめる / ビジネスマナー講座(外国人同僚との意思疎通)
第15回	Unit 7: プレゼンテーションをまとめる(2)、まとめ
第16回	定期試験  上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や演習活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011016	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 1 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は前半45分をe-learning、後半45分を通常授業とし、効率よく学びながら英語力の向上を目指します。 前半のe-learningではオーセンティックな教材を使用し、リスニング力を鍛えることを目的としている。 後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学んでいく。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learningを使った学習法を身につけることができる。</li> <li>・プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を説明することができる。</li> <li>・英語でプレゼンテーションができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回) : 40% 授業中の小テスト : 15% 授業の参加度 : 25% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業までに動画を視聴し、必要であれば課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	e-learning, Presentation		
教科書・教材・参考書 / Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y e-learning自学自習（合計30時間） 予習：事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。（1時間/回） 復習：ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。（30分/回）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施	A B
第2回	リスニング教材 Unit1 Step1,2 学習計画を立てる	A B
第3回	リスニング教材 Unit1 Step3 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第4回	リスニング教材 Unit2 Step1,2 意志力について学ぶ (Reading)	A B
第5回	リスニング教材 Unit2 Step3 意志力について学ぶ (Listening)	A B
第6回	リスニング教材 Unit3 Step1,2 意志力について学ぶ (Listening)	A B
第7回	e-learning教材学習テスト (1回目)  プレゼンテーション (1) 論理的な構成について学ぶ	A B
第8回	リスニング教材 Unit3 Step3  プレゼンテーション (2) よく使う表現について学ぶ	A B
第9回	リスニング教材 Unit4 Step1,2  プレゼンテーション (3) 話し方、伝え方について考える	A B
第10回	リスニング教材 Unit4 Step3  プレゼンテーション (4) 発音 (連結、脱落、弱化) について学ぶ	A B
第11回	リスニング教材 Unit5 Step1,2  プレゼンテーション (5) 発音 (連結、脱落、弱化) を使ってペアで話す	A B
第12回	リスニング教材 Unit5 Step3  プレゼンテーション (6) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第13回	e-learning教材学習テスト (2回目)  プレゼンテーション (7) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第14回	リスニング教材 Unit6 Step1,2  グループプレゼンテーション 1	A B
第15回	リスニング教材 Unit6 Step3  グループプレゼンテーション 2 まとめ	A B
第16回	期末試験	A



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011017	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日2限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は前半45分を通常授業、後半45分をe-learningとし、効率よく学びながら英語力の向上を目指します。 前半のグループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学んでいく。 後半は、e-learningではオーセンティックな教材を使用し、リスニング力を鍛えることを目的としている。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learningを使った学習法を身につけることができる。</li> <li>・プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を説明することができる。</li> <li>・英語でプレゼンテーションができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回) : 40% 授業中の小テスト : 15% 授業の参加度 : 25% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業までに動画を視聴し、必要であれば課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	e-learning, Presentation		
教科書・教材・参考書 / Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y e-learning自学自習（合計30時間） 予習：事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。（1時間/回） 復習：ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。（30分/回）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施	A B
第2回	リスニング教材 Unit1 Step1,2 学習計画を立てる	A B
第3回	リスニング教材 Unit1 Step3 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第4回	リスニング教材 Unit2 Step1,2 意志力について学ぶ (Reading)	A B
第5回	リスニング教材 Unit2 Step3 意志力について学ぶ (Listening)	A B
第6回	リスニング教材 Unit3 Step1,2 意志力について学ぶ (Listening)	A B
第7回	e-learning教材学習テスト (1回目)  プレゼンテーション (1) 論理的な構成について学ぶ	A B
第8回	リスニング教材 Unit3 Step3  プレゼンテーション (2) よく使う表現について学ぶ	A B
第9回	リスニング教材 Unit4 Step1,2  プレゼンテーション (3) 話し方、伝え方について考える	A B
第10回	リスニング教材 Unit4 Step3  プレゼンテーション (4) 発音 (連結、脱落、弱化) について学ぶ	A B
第11回	リスニング教材 Unit5 Step1,2  プレゼンテーション (5) 発音 (連結、脱落、弱化) を使ってペアで話す	A B
第12回	リスニング教材 Unit5 Step3  プレゼンテーション (6) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第13回	e-learning教材学習テスト (2回目)  プレゼンテーション (7) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第14回	リスニング教材 Unit6 Step1,2  グループプレゼンテーション 1	A B
第15回	リスニング教材 Unit6 Step3  グループプレゼンテーション 2 まとめ	A B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011018	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmat_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館617号		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文等による発信)にも応用できる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。(対応するDP:分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)</li> <li>・予め与えられた課題について、授業の到達目標を達成するために何を予習して調べる必要があるかを考えて取り組むことができる。(対応するDP:自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)</li> <li>・プレゼンテーション等において、自分の考えや調べた内容を相手に分かりやすく伝えることができる。(対応するDP:自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(1) 授業内容に関する確認テスト(英文中の重要な語句や表現・英作文)第1回と第2回の成績40% (2) 授業時における発表内容(予習内容の発表) 20% (3) e-learning教材学習テスト 40% (4) 履修便覧記載のとおり、授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業で指定する予習(英語の単語の意味・発音、文の意味、筆者の主張)を辞書、参考書、教科書の注釈等を用いて調べてくること。 ・e-learning自学自習(合計30時間) ・事前学習として、授業で示された課題の下調べとそのまとめ(1h) ・事後学習として、当該授業で学んだことのミニレポート等の作成(1h)		
キーワード/Keywords	読解力(精読・速読), 語彙力, 表現力(発信力)		
教科書・教材・参考書/Materials	James Kirkup, Tales of Mystery and Magic. 音羽書房鶴見書店.		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	学生便覧を参照.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には毎回英和辞書を（可能ならば英英辞書も）持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Netherlandic Tale, "The Three Wishes" (1)
第2回	"The Three Wishes" (2)
第3回	"The three Wishes" (3), リスニング練習
第4回	"The Three Wishes" (4)
第5回	"The Three Wishes" (5), リスニング練習
第6回	German Tale, "The Imp in the Bottle"(1)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目, "The Imp in the Bottle" (2)
第8回	確認テスト第1回目, "The Imp in the Bottle" (3),
第9回	"The Imp in the Bottle" (4), リスニング練習
第10回	"The Imp in the Bottle" (5), リスニング練習
第11回	Welsh Tale, "The Lady from the Sea" (1)
第12回	"The Lady from the Sea" (2), リスニング練習
第13回	e-learning教材学習テスト2回目, "The Lady from the Sea" (3)
第14回	"The Lady from the Sea" (4)
第15回	"The Lady from the Sea" (5), リスニング練習
第16回	確認テスト(期末テスト)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011019	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な場面でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。毎回無作為に指名して発表してもらう。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。小テストを数回行う予定。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正しく適切に選び取ることができるようになる。基本的な文法・構文・表現方法を使用することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、授業への積極的な参加状況10%、e-learning教材学習テスト40%(60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと(1,5時間/回) テキストには音声と映像が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。 ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Christien Lee 『World English 3』(2020年、センゲージラーニング)		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方とe-learningの説明、TEDの紹介
第2回	Where We Live(文法・リスニング)
第3回	Where We Live(リーディング・ビデオジャーナル)
第4回	The Mind's Eye(文法・リスニング)
第5回	The Mind's Eye(リーディング・ビデオジャーナル1)
第6回	The Mind's Eye(ビデオジャーナル2)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目、Changing Planet(リスニング)
第8回	Changing Planet(リーディング・ビデオジャーナル)
第9回	Survival(文法・リスニング)
第10回	Survival(リーディング・ビデオジャーナル)
第11回	Competition(文法・リスニング)
第12回	Competition(リーディング・ビデオジャーナル)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目、Learning(文法・リスニング)
第14回	ペア発表
第15回	Learning(リーディング・ビデオジャーナル)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011020	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2, 水5, 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	このクラスは、ハイブリット形式の授業となる。90分の前半、あるいは後半をCALL教室で指定されたe-learning教材(授業外に指定されるe-learning教材とは別の教材)を学習してもらう。残りの半分の時間は、普通教室にて、対面型の授業を行う。具体的な授業の進行の方法は、第1回目に説明する。 対面型では、任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。		
授業到達目標/Course goals	1) 様々な話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英字新聞の英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、 プレゼンペーパー等の提出物10%、 授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト): The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」(南雲堂)1700円		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーク）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	Reading（テキストUnit 1） e-learning 学習（New York Live）
第3回	Reading（テキストUnit 2） e-learning 学習（New York Live）
第4回	Reading（テキストUnit 3） e-learning 学習（New York Live）
第5回	Reading（テキストUnit 4） e-learning 学習（New York Live）
第6回	Reading（テキストUnit 5） e-learning 学習（New York Live）
第7回	e-learning 教材学習テスト1回目 e-learning 学習（New York Live）
第8回	Reading（テキストUnit 6） e-learning 学習（New York Live）
第9回	Reading（テキストUnit 7） e-learning 学習（New York Live）
第10回	Reading（テキストUnit 8） e-learning 学習（New York Live）
第11回	Reading（テキストUnit 9） e-learning 学習（New York Live）
第12回	Reading（テキストUnit 10） e-learning 学習（New York Live）
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 e-learning 学習（New York Live）
第14回	Reading（テキストUnit 11） e-learning 学習（New York Live）
第15回	Reading（テキストUnit 12） e-learning 学習（New York Live）
第16回	定期試験



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011021	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2, 水5, 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	このクラスは、ハイブリット形式の授業となる。90分の前半、あるいは後半をCALL教室で指定されたe-learning教材(授業外に指定されるe-learning教材とは別の教材)を学習してもらう。残りの半分の時間は、普通教室にて、対面型の授業を行う。具体的な授業の進行の方法は、第1回目に説明する。 対面型では、任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。		
授業到達目標/Course goals	1) 様々な話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英字新聞の英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、 プレゼンペーパー等の提出物10%、 授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト): CNN ショートニュースを用いたリスニング・リーディングスキルアップ(朝日出版) ¥1,800		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	Reading（テキストUnit 1） e-learning 学習（First Listening）
第3回	Reading（テキストUnit 2） e-learning 学習（First Listening）
第4回	Reading（テキストUnit 3） e-learning 学習（First Listening）
第5回	Reading（テキストUnit 4） e-learning 学習（First Listening）
第6回	Reading（テキストUnit 5） e-learning 学習（First Listening）
第7回	e-learning 教材学習テスト第1回目 e-learning 学習（First Listening）
第8回	Reading（テキストUnit 6） e-learning 学習（New York Live）
第9回	Reading（テキストUnit 7） e-learning 学習（First Listening）
第10回	Reading（テキストUnit 8） e-learning 学習（First Listening）
第11回	Reading（テキストUnit 9） e-learning 学習（First Listening）
第12回	Reading（テキストUnit 10） e-learning 学習（First Listening）
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 e-learning 学習（First Listening）
第14回	Reading（テキストUnit 11） e-learning 学習（First Listening）
第15回	Reading（テキストUnit 12） e-learning 学習（First Listening）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011022	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 3 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は前半45分をe-learning、後半45分を通常授業とし、効率よく学びながら英語力の向上を目指します。 前半のe-learningではオーセンティックな教材を使用し、リスニング力を鍛えることを目的としている。 後半は、グループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学んでいく。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learningを使った学習法を身につけることができる。</li> <li>・プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を説明することができる。</li> <li>・英語でプレゼンテーションができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回) : 40% 授業中の小テスト : 15% 授業の参加度 : 25% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業までに動画を視聴し、必要であれば課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	e-learning, Presentation		
教科書・教材・参考書 / Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y e-learning自学自習(合計30時間) 予習:事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。(1時間/回) 復習:ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施	A B
第2回	リスニング教材 Unit1 Step1,2 学習計画を立てる	A B
第3回	リスニング教材 Unit1 Step3 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第4回	リスニング教材 Unit2 Step1,2 意志力について学ぶ(Reading)	A B
第5回	リスニング教材 Unit2 Step3 意志力について学ぶ(Listening)	A B
第6回	リスニング教材 Unit3 Step1,2 意志力について学ぶ(Listening)	A B
第7回	e-learning教材学習テスト(1回目)  プレゼンテーション(1) 論理的な構成について学ぶ	A B
第8回	リスニング教材 Unit3 Step3  プレゼンテーション(2) よく使う表現について学ぶ	A B
第9回	リスニング教材 Unit4 Step1,2  プレゼンテーション(3) 話し方、伝え方について考える	A B
第10回	リスニング教材 Unit4 Step3  プレゼンテーション(4) 発音(連結、脱落、弱化)について学ぶ	A B
第11回	リスニング教材 Unit5 Step1,2  プレゼンテーション(5) 発音(連結、脱落、弱化)を使ってペアで話す	A B
第12回	リスニング教材 Unit5 Step3  プレゼンテーション(6) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目)  プレゼンテーション(7) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第14回	リスニング教材 Unit6 Step1,2  グループプレゼンテーション1	A B
第15回	リスニング教材 Unit6 Step3  グループプレゼンテーション2 まとめ	A B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011023	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (L(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 4 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は前半45分を通常授業、後半45分をe-learningとし、効率よく学びながら英語力の向上を目指します。 前半のグループワークを中心に授業を進めながら、英語でのプレゼンテーション技法を学んでいく。 後半は、e-learningではオーセンティックな教材を使用し、リスニング力を鍛えることを目的としている。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learningを使った学習法を身につけることができる。</li> <li>・プレゼンテーションの技法(構成、表現、態度)を説明することができる。</li> <li>・英語でプレゼンテーションができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回) : 40% 授業中の小テスト : 15% 授業の参加度 : 25% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業までに動画を視聴し、必要であれば課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	e-learning, Presentation		
教科書・教材・参考書 / Materials	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y e-learning自学自習（合計30時間） 予習：事前に指定した範囲のビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。（1時間/回） 復習：ビデオ教材や配布資料を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。（30分/回）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施	A B
第2回	リスニング教材 Unit1 Step1,2 学習計画を立てる	A B
第3回	リスニング教材 Unit1 Step3 自分の意思力について振り返り、英語で1分間話す	A B
第4回	リスニング教材 Unit2 Step1,2 意志力について学ぶ (Reading)	A B
第5回	リスニング教材 Unit2 Step3 意志力について学ぶ (Listening)	A B
第6回	リスニング教材 Unit3 Step1,2 意志力について学ぶ (Listening)	A B
第7回	e-learning教材学習テスト (1回目)  プレゼンテーション (1) 論理的な構成について学ぶ	A B
第8回	リスニング教材 Unit3 Step3  プレゼンテーション (2) よく使う表現について学ぶ	A B
第9回	リスニング教材 Unit4 Step1,2  プレゼンテーション (3) 話し方、伝え方について考える	A B
第10回	リスニング教材 Unit4 Step3  プレゼンテーション (4) 発音 (連結、脱落、弱化) について学ぶ	A B
第11回	リスニング教材 Unit5 Step1,2  プレゼンテーション (5) 発音 (連結、脱落、弱化) を使ってペアで話す	A B
第12回	リスニング教材 Unit5 Step3  プレゼンテーション (6) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第13回	e-learning教材学習テスト (2回目)  プレゼンテーション (7) グループプレゼンテーションの準備をする	A B
第14回	リスニング教材 Unit6 Step1,2  グループプレゼンテーション 1	A B
第15回	リスニング教材 Unit6 Step3  グループプレゼンテーション 2 まとめ	A B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011024	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な場面でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。毎回無作為に指名して発表してもらう。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。小テストを数回行う予定。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正しく適切に選ぶことができるようになる。基本的な文法・構文・表現方法を使用することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、授業への積極的な参加状況10%、e-Learning教材学習テスト40%(60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと(1,5時間/回) テキストには音声と映像が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。 ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Christien Lee 『World English 3』(2020年、センゲージラーニング)		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方とe-learningの説明、TEDの紹介
第2回	Where We Live(文法・リスニング)
第3回	Where We Live(リーディング・ビデオジャーナル)
第4回	The Mind's Eye(文法・リスニング)
第5回	The Mind's Eye(リーディング・ビデオジャーナル1)
第6回	The Mind's Eye(ビデオジャーナル2)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目、Changing Planet(リスニング)
第8回	Changing Planet(リーディング・ビデオジャーナル)
第9回	Survival(文法・リスニング)
第10回	Survival(リーディング・ビデオジャーナル)
第11回	Competition(文法・リスニング)
第12回	Competition(リーディング・ビデオジャーナル)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目、Learning(文法・リスニング)
第14回	ペア発表
第15回	Learning(リーディング・ビデオジャーナル)
第16回	定期試験



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011025	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	隈上 麻衣 / Kumagami Mai		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mkumagami nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2172		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜3限(メールでも受け付ける)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。</li> <li>授業で扱う多様なトピックについて議論し意見をまとめることができる。</li> <li>社会的な問題について概要や意見を論理的にまとめるためのプロセスを理解する。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), e-learning教材学習テスト (40%: 1回目 20%+2回目 20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習を兼ねて小テストを実施する。教科書各Unit最初のページの語彙を学習してくること。その他予習・復習、課題の詳細は授業内およびLACS上で指示する。 ・e-learning 自学自習(合計 30 時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	TBA 初回授業にて販売を行います。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	隈上 麻衣/アメリカの日本人学校（補習校）での勤務経験/海外での日本語教育・初等教育経験がある教員が、多言語使用環境での教育に関する知識・経験を活かし、第二言語学習者の知識状態や発達過程について講義を行う。/ニューヨーク育英学園
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 9/30	Orientation
第2回: 10/7	Unit 1 Self-Introduction
第3回: 10/14	Unit 2
第4回: 10/21	Unit 3
第5回: 10/28	Unit 4
第6回: 11/4	Unit 5
第7回: 11/11	Unit 6 e-learning教材学習テスト1回目
第8回: 11/18	Midterm Exam
第9回: 11/25	Unit 7
第10回: 12/2	Unit 8
第11回: 12/9	Unit 9
第12回: 12/16	Unit 10
第13回: 1/6	Unit 11 e-learning教材学習テスト2回目
第14回: 1/13	Unit 12
第15回: 1/27	Unit 13
第16回: 2/3	Final Exam

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011026	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (M3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題(2時間/回)、事後学習として課題の見直し(1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, プリント教材(1)
第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	Listening 5, プリント教材(5)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 9, プリント教材(10)
第12回	Listening 10, プリント教材(11)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度), プリント教材(12)
第14回	Listening 11, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011027	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T8) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T8		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	非常勤講師控室 水曜日13:30~14:20、金曜日13:30~14:20		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	大学生生活のなかで身近に応用できる英語表現を学びながら英語の基礎力を培っていきます。また、生きた英語に慣れ親しみ、英語で情報を得ることを楽しむ授業です。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 新たに学んだ英語表現を日常生活の中で使えるようになる (2) 臆せずに英語で会話できるようになる (3) 英語で情報を得ることを楽しめる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning 教材学習テスト (40%) [1回目20% + 2回目20%] 授業参加度 (15%) 内容確認小テスト (25%) 期末試験 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 事前に指定した教科書やプリントの範囲の音読練習をして、次の授業のペア・グループワークで使えるようにしておくこと (1時間/回) 復習: 教科書やプリントを再読し、授業で学習した語彙・表現の小テストに向けての学習をしておくこと (1時間/回) そのほか: 予習と復習以外の指示された課題がある際に取り組むこと (1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	英語4技能の修得		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新たに学んだ英語表現を、間違いを恐れずに使うことが大切です。参加型の授業ですので、皆さんの積極的な参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	有吉由紀・国際連合児童基金 (UNICEF) ガンビア共和国バンジュール事務所勤務 (2年間) ・国際機関での勤務経験に基づき、国際人としての教養を養うことを目的に、時事英語や実践的な英語表現を適宜授業に取り入れている。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9月30日	オリエンテーション：授業概要と評価について説明します 大学1年生になった自身の自己紹介ができるようになります。
10月7日	教科書Unit 1と配布プリントの演習：学生生活に関する語彙・表現 挨拶をかわす時の多彩な英語表現を使えるようにします。
10月14日	教科書Unit 2と配布プリントの演習：道案内の語彙・表現 キャンパス内の道案内ができるようにします。
10月21日	教科書Unit3と配布プリントの演習：学年暦に関する語彙・表現 英語音声の特徴を学び、音読・リスニングに役立てる学習法を紹介していきます。
10月28日	教科書Unit5, 14と配布プリントの演習：アルバイトに関する語彙・表現 音声の特徴を学び、音読・リスニングに役立てる学習法を実践していきます。
11月4日	教科書Unit6と配布プリントの演習：メールや手紙の書き方 英語でメールを書いてみます。
11月11日	e-learning 教材学習テスト 1回目
11月18日	教科書Unit7 - 8と配布プリントの演習：一言日記と予定表の書き方 英語で日記や予定表を記入する語彙・表現を紹介していきます。
11月25日	教科書Unit12と配布プリントの演習：成績や修得単位に関する語彙・表現
12月2日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。
12月9日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。
12月16日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。
1月6日	e-learning 教材学習テスト 2回目
1月13日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。
1月27日	総括
2月3日	期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011028	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T9) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ねらい: 簡単な英語で書かれたテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、英文の理解を深めます。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	到達目標: 大学入学時までに培われてきた総合的な学力を前提に辞書なしでもテキストの英語をよめるようになることを目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験60%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭な所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード / Keywords	コナン・ドイル シャーロック・ホームズの中から二作品を問題を読みながら、作品の理解を深めてゆく。併せて、プリントを使用した学習も行う。		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (セングージラーニング株式会社) 第一回目の授業で教室にて販売します。 プリント		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	定期試験の受講資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	The Red-Headed League Introduction 毎回プリントの学習の学習も行う
第2回	Unit 1 An Easy Job
第3回	Unit 2 Mr. Wilson Is Put to a Test
第4回	Unit 3 A Job Suddenly Ends
第5回	Unit 4 Holmes Gathers Information
第6回	Unit 5 Setting the Trap
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6 Holmes Explains the Plan
第8回	Introduction The Adventure of the Copper Beeches
第9回	Unit 7 A Job with Strange Requirements
第10回	Unit 8 The Work Begins
第11回	Unit 9 A Strange Observer
第12回	Unit 10 Miss Hunter Looks Around
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 11 Mr. Holmes Has an Idea
第14回	Unit 12 Mr. Rucastle 's Terrible Fate
第15回	まとめ



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011029	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (K1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教育学部 6F 619 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10~17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	これまでの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	英語の4技能の訓練を通して、TOEIC700点以上が獲得できる総合的英語力の育成を目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験(60%)、e-learning教材学習テスト(40%)を基準に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 教科書の予習・復習を徹底して行うこと。毎回の予習・復習課題の自学自習時間として、3時間程度の学習が求められる。		
キーワード / Keywords	英語の4技能、英語の総合的運用訓練		
教科書・教材・参考書 / Materials	Reading Stream. Intermediate.KINSEI00. by O. Takeuchi 他.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	e-learning への取り組み及び授業での発表活動に対する評価が大きな割合を占めますので、積極的に英語学習に取り組んでください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Pink Carnations Scanningのスキルについて
第2回	The History of Jeans Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)
第3回	To Long Life! Skimming for the Main Idea
第4回	Be Careful What You Wish For Recognizing Sequence of Events
第5回	Baseball and Cricket Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)
第6回	In Our Blood or in Our Minds Predicting のスキル
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Know Yourself, Know the Market Inferring のスキル
第8回	Brainstorming Identifying Main and Supporting Ideas
第9回	A Good Consumer Understanding Main Ideas (Gist)
第10回	Welcome to he Hall of Fame! Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
第11回	Special Circumstances Developing Reading Fluency (1)
第12回	Lies and Statistics Developing Reading Fluency (2)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Builders Break Ground on Blackwood Bridge Project To Read Newspaper Articles
第14回	Coded Communication Developing Reading Fluency (3)
第15回	Lucid Dreaming Developing Reading Fluency (4) 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011030	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (J1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	J1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス共用校舎2 1階(総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Voice of America(VOA)のニュースを題材とし、主にリスニング力を高めると同時にそのニュースを読んで理解する活動も行う。内容を把握するためのactivityをペアやグループで行い、学習した表現を使用する練習も行なう。 授業内容: Pre-listening, while-listening, post-listeningの各段階で、語彙、大意把握、内容把握、イデオムや一般的な表現の確認、自分で表現するタスク、という順番で各unitを学習する。テキストでは健康や環境を素材としたニュースを聞き、又読んで内容把握の練習を行う。身近なものから世界規模の、興味深いトピックをオーセンティックな英語で聞くことにより、自然な英語に慣れる。		
授業到達目標/Course goals	1. ListeningとReadingによる理解力を伸ばすことを目標とする。 2. トピックについての理解を高めるため、グループやペアでのactivityを行うことにより、能動的に学び、また自分の考えを英語で表現できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・ e-learning 教材学習テスト(40点: 20点 x 2) ・小テスト(リスニング/内容理解)(6点 x 7) ・ 授業中の発表・取り組み(18点) (注意) 6回以上欠席した場合(公欠は除く)は単位修得ができない。 欠席1回 - 3点、遅刻1回 - 1点: 開始20分後まで入室は遅刻、それ以降の入室は欠席とみなす。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: VOA音声ダウンロードサイトへ入って、本文の音声を何度も聴き、Dictationをしておく(30分/回) ・ 復習: 本文の音声を再度聴き、テキスト文を読み内容理解を深めること、Lacsの掲示板に英語で意見を書き、クラスメートと意見交流をする(1時間/回)		
キーワード/Keywords	リスニングスキル、リーディングスキル、Health & Environment		
教科書・教材・参考書/Materials	Health & Environment Reports from VOA Volume 2, by Seisuke Yasunami /Richard S. Lavin, 松柏社		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	6回以上欠席した場合(公欠は除く)は単位修得ができない。 欠席1回 - 3点、遅刻1回 - 1点: 開始20分後まで入室は遅刻、それ以降の入室は欠席とみなす。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回 9/30	Orientation/ Unit 1 Are hot drinks dangerous?
第 2 回 10/7	Unit 1. Are hot drinks dangerous?
第 3 回 10/14	Unit 1小テスト/ Unit 2 Plastic bottles on your feet?
第 4 回 10/21	Unit 2 Plastic bottles on your feet?
第 5 回 10/28	Unit 2小テスト/ Unit 3 Fitness Trackers for weight loss?
第 6 回 11/4	Unit 3 Fitness Trackers for weight loss?
第 7 回 11/11	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 5 Is early cancer detection possible?
第 8 回 11/18	Unit 3小テスト/ Unit 5 Is early cancer detection possible?
第 9 回 11/25	Unit 5小テスト/ Unit 6 The air is killing me!
第 1 0 回 12/2	Unit 6 The air is killing me!
第 1 1 回 12/9	Unit 6小テスト/ Unit 9 Sunshine for health?
第 1 2 回 12/16	Unit 9 Sunshine for health?
第 1 3 回 1/6	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 13 Don ' t Burn the Toast!
第 1 4 回 1/13	Unit 9小テスト/ Unit 13 Don ' t Burn the Toast!
第 1 5 回 1/27	Unit 13 Don ' t Burn the Toast! 小テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011031	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)、必要最低限の英語(及び米語)、を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。 習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。 各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。 英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のe-learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。(2時間/回)		

キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	e-learning教材学習テスト（1回目）、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験  上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進捗設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011032	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス共用校舎2 1階(総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Voice of America(VOA)のニュースを題材とし、主にリスニング力を高めると同時にそのニュースを読んで理解する活動も行う。内容を把握するためのactivityをペアやグループで行い、学習した表現を使用する練習も行なう。 授業内容: Pre-listening, while-listening, post-listeningの各段階で、語彙、大意把握、内容把握、イデオムや一般的な表現の確認、自分で表現するタスク、という順番で各unitを学習する。テキストでは健康や環境を素材としたニュースを聞き、又読んで内容把握の練習を行う。身近なものから世界規模の、興味深いトピックをオーセンティックな英語で聞くことにより、自然な英語に慣れる。		
授業到達目標/Course goals	1. ListeningとReadingによる理解力を伸ばすことを目標とする。 2. トピックについての理解を高めるため、グループやペアでのactivityを行うことにより、能動的に学び、また自分の考えを英語で表現できるようになることを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ e-learning 教材学習テスト(40点: 20点×2) ・小テスト(リスニング/内容理解)(6点×7) ・ 授業中の発表・取り組み(18点) (注意) 6回以上欠席した場合(公欠は除く)は単位修得ができない。 欠席1回 - 3点、遅刻1回 - 1点: 開始20分後まで入室は遅刻、それ以降の入室は欠席とみなす。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: VOA音声ダウンロードサイトへ入って、本文の音声を何度も聴き、Dictationをしておく(30分/回) ・ 復習: 本文の音声を再度聴き、テキスト文を読み内容理解を深めること、Lacsの掲示板に英語で意見を書き、クラスメートと意見交流をする(1時間/回)		
キーワード/Keywords	リスニングスキル、リーディングスキル、Health & Environment		
教科書・教材・参考書/Materials	Health & Environment Reports from VOA Volume 2, by Seisuke Yasunami /Richard S. Lavin, 松柏社		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	(注意) 6回以上欠席した場合(公欠は除く)は単位修得ができない。 欠席1回 - 3点、遅刻1回 - 1点: 開始20分後まで入室は遅刻、それ以降の入室は欠席とみなす。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回 10/1	Orientation/ Unit 1 Are hot drinks dangerous?
第 2 回 10/8	Unit 1. Are hot drinks dangerous?
第 3 回 10/15	Unit 1小テスト/ Unit 2 Plastic bottles on your feet?
第 4 回 10/22	Unit 2 Plastic bottles on your feet?
第 5 回 10/29	Unit 2小テスト/ Unit 3 Fitness Trackers for weight loss?
第 6 回 11/5	Unit 3 Fitness Trackers for weight loss?
第 7 回 11/12	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 5 Is early cancer detection possible?
第 8 回 11/19	Unit 3小テスト/ Unit 5 Is early cancer detection possible?
第 9 回 11/26	Unit 5小テスト/ Unit 6 The air is killing me!
第 1 0 回 12/3	Unit 6 The air is killing me!
第 1 1 回 12/10	Unit 6小テスト/ Unit 9 Sunshine for health?
第 1 2 回 12/17	Unit 9 Sunshine for health?
第 1 3 回 1/7	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 13 Don ' t Burn the Toast!
第 1 4 回 1/14	Unit 9小テスト/ Unit 13 Don ' t Burn the Toast!
第 1 5 回 1/21	Unit 13 Don ' t Burn the Toast! 小テスト



学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011033	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (K2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)、必要最低限の英語(及び米語)、を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。 習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。 各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。 英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、e-learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。(2時間/回)		

キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	e-learning教材学習テスト（1回目）、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験  上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011034	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (J2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	J2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 水5,木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	まず、授業時に配布する英文教材を用いて、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。次に、基本的な英語表現の練習をテキストを用いて行う。テキストの音声ダウンロードし、各自家庭で指定された範囲の英文を練習して授業に臨み、CALL教室にて、ペアにて英語会話の練習を行う。		
授業到達目標/Course goals	1) テキストの音声教材を聞きとれるようになるとともに、重要な表現を自由に使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、プレゼンペーパー等の提出物10%、授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト): CNN ショートニュースを用いたリスニング・リーディングスキルアップ(朝日出版) ¥1,800		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Reading 1
第2回	Reading 2 英語コミュニケーション教本(1)
第3回	Power Words Unit 1～ Unit 10 小テスト Reading 3 英語コミュニケーション教本 (2)
第4回	Reading 4 英語コミュニケーション教本 (3)
第5回	Reading 5 英語コミュニケーション教本 (4)
第6回	Power Words Unit 11～ Unit 20 小テスト Reading 6 英語コミュニケーション教本 (5)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Reading 7
第8回	Reading 8 英語コミュニケーション教本 (6)
第9回	Power Words Unit 21～ Unit 30 小テスト Reading 9 英語コミュニケーション教本 (7)
第10回	Reading 10 英語コミュニケーション教本 (8)
第11回	Power Words Unit 31～ Unit 40 小テスト Reading 11 英語コミュニケーション教本 (9)
第12回	Power Words Unit 41～ Unit 50 小テスト Reading 12
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Reading 13
第14回	英語コミュニケーション教本(11) reading 14
第15回	プレゼン原稿を用いたグループワーク、プレゼンテーション代表者コンテスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011035	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	理工系学生のために書かれた、世界の様々な事柄に関して書かれた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来優秀な工学士になられることはもとより、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	科学と世界の様々な事象や、人間の優れた資質や生き方について関心や知識を深め、また、それら理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材(CD)を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・e-learning自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	科学について書かれた英文 / リーディング・スキルの向上 / 英語の四技能向上 / 人間の資質 / 生き方と人生 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		

教科書・教材・参考書/Materials	English for Science and Technology Students: Developing Skills for Scientific Communication 4技能を伸ばす理工系学生のための基礎英語（奥総一郎ほか：朝日出版社） 音声教材を <a href="http://text.asahipress.com/free/english/">http://text.asahipress.com/free/english/</a> からダウンロードしておきましょう。 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入・授業内容の説明
第2回	Unit 1 Desert Wisdom
第3回	Unit 2 ThePower of Friendship
第4回	Unit 3 Cell Phone Culture
第5回	Unit 4 Men are from Mars, Women are from Venus
第6回	Unit 5 The Beginning Part of Botchan
第7回	【e-learning 教材学習テスト1回目】 Unit 6 Guernica
第8回	Unit 7 The Art of Lying
第9回	Unit 9 The Three Secrets to Persuasion
第10回	Unit 10 Malala Yousafzai Nobel Peace Prize Lecture
第11回	Unit 11 Eating Disorders
第12回	Unit 12 Working Condition, Death from Overwork
第13回	【e-learning 教材学習テスト2回目】 Unit 13 Seasonal Festivals (Sekku)
第14回	Unit 14 Emotional Robots
第15回	Unit 15 Maslow's Hierarchy of Needs
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011036	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T7) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスンLACSを使って内容理解確認小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めていきます。</p> <p>(1) LACSによる内容理解確認小テスト  (2) テキストを使用した演習 (グループワーク、Readers' theater 等の活動、あるいは配布物による学習を含む)  (3) 3分間英語のみで会話 録音 録音を聞き直す (ディクテーション) 自己評価 (振り返りシート)  (4) 洋画視聴 (5~10分程度)  提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します (パフォーマンス課題にはルーブリックを準備)。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。  (2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができるようになる。  (3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。  (4) その会話の和訳を英訳できるようになる。  (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。  (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。  (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	20%定期試験、40%授業への取り組み(授業への積極的な姿勢10%、内容理解確認小テストx12回/20%、提出課題4%、グループワーク及びReaders' theater 6%)、40%e-learning教材学習テスト(20% x 2回:3 Step Call System, Power Wordsより)を総合的に判断します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・e-learning 自主学習(合計30時間程度) ・予習:事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、またLACSによる小テスト(12回実施予定)にむけた学習(1時間/回) ・復習:教科書(の中の会話文は、口からついて出てくる程度音読の練習をすること)やプリント(毎レッスン視聴する洋画の字幕等)を再読し、新しい単語、表現は確実に調べ、理解が不十分な点については質問できるように整理しておくこと(1時間/回)
キーワード/Keywords	音読、リピーティング、ディクテーション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book B with Online Self-study』 Cambridge University Press - ISBN: 978-1-108-62772-6を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語でコミュニケーションができると世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(10/2)	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワーク(G/W)を通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特にスピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のOnline Self-studyを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。 *(G/W) Group workの省略 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回(10/9)	テキスト Shopping
第3回(10/16)	Shopping *(G/W)
第4回(10/23)	Shopping
第5回(10/30)	Shopping, Readers' theater の説明
第6回(11/6)	Readers' theater (G/W), e-learning 復習他
第7回(11/13)	e-learning 教材学習テスト1回目, テキスト In a restaurant
第8回(11/20)	In a restaurant
第9回(11/27)	In a restaurant *(G/W)



第10回 (12/4)	In a restaurant
第11回 (12/11)	テキスト Fun in the city
第12回 (12/18)	Fun in the city *(G/W) / Readers' theater *(G/W), e-learning 復習他
第13回 (1/8)	e-learning 教材学習テスト2回目, Fun in the city
第14回 (1/22)	Fun in the city , Review
第15回 (1/29)	Review
第16回 (2/5)	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011037	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (T5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日3時限目終了後 またはメール対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	多様な学習コンテンツの演習を通じて英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。		
授業到達目標/Course goals	英語学習の習慣化によって積極的に英語でコミュニケーションする意欲が向上する。多様な英語コンテンツの学習を通じて、多様な国際社会の理解力が向上する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回)40% クラス教材に基づく学習 60%(中間・期末テスト 40%、Quiz評価 10%、提出物(学習レコード)10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: Online Practiceで授業準備(毎回1時間程度) 事後学習: Quiz(次回クラス最初におこなう小テスト)準備、OnlinePractice演習(毎回1時間程度) 自立学習: e-learning教材自学自習(30時間程度)		
キーワード / Keywords	Online practice、学習レコード、CEFR		
教科書・教材・参考書 / Materials	Hughes, J., Stephenson, H. and Dummett, P. (2019). Life 3 2nd ed. National Geographic Learning.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)	www.headwayonline.com		
学生へのメッセージ / Message for students	オンラインリソースが充実した教材です。音声教材をスマホ、PCなどにインストールして自立学習、授業の予習復習に活用してください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
Oct 2, Period 2	Introduction 1 . 授業展開について、2 . Mylife Online ( オンラインリソース)の使い方 3 . 学習レコードの記載法、4 . 理解度確認のためのQuiz
Oct 9, Period 2	U1. Lifestyle (Reading: Nature is good for you, Video: Laughter yoga)
Oct 16, Period 2	U1 Quiz U2. Competitions (Reading: Bolivian wrestlers, Video: Mongolian horse racing)
Oct 23, Period 2	U2 Quiz. U3. Transportation (Reading: The end of the road, Video: Indian railways)
Oct. 30, Period 2	U3. Quiz U4. Challenges (Reading: Challenging yourself, Video: A microadventure)
Nov 6, Period 2	U4. Quiz U5. The environment (Reading: A boat made of bottles, Video: Recycling Cairo)
Nov. 13, Period 2	e-learning教材学習テスト 1 回目 (Quizなし) U6. Stages of life (Reading: Coming of age, Video: Steel drums)
Nov. 20, Period 2	Review (U1. - U6. 学習レコードの記述整理、提出準備) Review Test
Nov. 27, Period 2	U7. Work (Reading: Twenty-first century cowboys, Video: My working life)
Dec. 4, Period 2	U7. Quiz U8. Technology (Reading: Designs from nature, Video: Ancient languages, modern technology)
Dec 11, Period 2	U8. Quiz U9. Vacations (Reading: Two sides of Paris, Video: Living in Venice)
Dec. 18, Period 2	U9. Quiz U10. Products (Reading: Is stuff winning?, Video: Wind turbines)
Jan. 8, Period 2	e-learning教材学習テスト 2 回目 (Quizなし) U11. History (Reading: Stealing history, Video: The golden record)
Jan. 22, Period 2	U11. Quiz U12. Nature (Reading: Living with chimpanzees, Video: Cambodia animal rescue)
Jan. 28, Period 2	U12. Quiz Review (U7. - U12. 学習レコードの記述整理、提出準備)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011038	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (K3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) 世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。 (2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Course goals	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験25%、小テスト、出席、授業への取り組み35%、e-learning教材学習テスト(3step・Power Words) 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間)、授業前のテキストの予習(1時間/回)、次回小テストのための復習(30分/回)		
キーワード / Keywords	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書 / Materials	CNN10- Student News -Vol.8 (Asahi Press)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回、予習の上で授業に臨むこと。オリエンテーションを除き5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中に指示		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (10/2)	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明
第2回 (10/9)	CNN10- Student News-Vol.8: テレビニュース英語とは Unit 1 Sec1
第3回 (10/16)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 1 Sec 2
第4回 (10/23)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 3 Sec 1
第5回 (10/30)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 3 Sec 2
第6回 (11/6)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 4 Sec 1
第7回 (11/13)	e-learning教材学習テスト1回目 CNN10- Student News-Vol.8: Unit 4 Sec 2
第8回 (11/20)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 5 Sec 1
第9回 (11/27)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 5 Sec 2
第10回 (12/4)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 6 Sec 1
第11回 (12/11)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 6 Sec 2
第12回 (12/18)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 9 Sec 1
第13回 (1/8)	e-learning教材学習テスト2回目 CNN10- Student News-Vol.8: Unit 9 Sec 2
第14回 (1/22)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 15 Sec 1
第15回 (1/29)	CNN10- Student News-Vol.8: Unit 15 Sec 2
第16回 (2/5)	期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590011039	科目番号 / Course code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (J3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室 水曜日13:30~4:20、 金曜日13:30~14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学生生活のなかで身近に応用できる英語表現を学びながら英語の基礎力を培っていきます。また、生きた英語に慣れ親しみ、英語で情報を得ることを楽しむ授業です。		
授業到達目標/Course goals	(1) 新たに学んだ英語表現を日常生活の中で使えるようになる (2) 臆せずに英語で会話できるようになる (3) 英語で情報を得ることを楽しめる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning 教材学習テスト(40%) [1回目20% + 2回目20%] 授業参加度(15%) 内容確認小テスト(25%) 期末試験(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習(合計30時間) 予習: 事前に指定した教科書やプリントの範囲の音読練習をして、次の授業のペア・グループワークで使えるようにしておくこと(1時間/回) 復習: 教科書やプリントを再読し、授業で学習した語彙・表現の小テストに向けての学習をしておくこと(1時間/回) そのほか: 予習と復習以外の指示された課題がある際に取り組むこと(1時間/回)		
キーワード / Keywords	英語4技能の修得		
教科書・教材・参考書 / Materials	"Campus English", Hiroko Nishikage, Masaaki Tamura, Leve Hanson, CENGAGE Learning		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	新たに学んだ英語表現を、間違いを恐れずに使うことが大事です。参加型の授業ですので、皆さんの積極的な参加を期待しています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	有吉由紀・国際連合児童基金（UNICEF）ガンビア共和国バンジュール事務所勤務（2年間）・国際機関での勤務経験に基づき、国際人としての教養を養うことを目的に、時事英語や実践的な英語表現を適宜授業に取り入れている。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
10月2日	オリエンテーション：授業概要と評価について説明します 大学1年生になった自身の自己紹介ができるようになります。	B
10月9日	教科書Unit 1と配布プリントの演習：学生生活に関する語彙・表現 挨拶をかわす時の多彩な英語表現を使えるようにします。	A B
10月16日	教科書Unit 2と配布プリントの演習：道案内の語彙・表現 キャンパス内の道案内ができるようにします。	A B
10月23日	教科書Unit3と配布プリントの演習：学年暦に関する語彙・表現 英語音声の特徴を学び、音読・リスニングに役立てる学習法を紹介していきます。	A B
10月30日	教科書Unit5, 14と配布プリントの演習：アルバイトに関する語彙・表現 音声の特徴を学び、音読・リスニングに役立てる学習法を実践していきます。	A B
11月6日	教科書Unit6と配布プリントの演習：メールや手紙の書き方 英語でメールを書いてみます。	A B
11月13日	e-learning 教材学習テスト 1回目	A B
11月20日	教科書Unit7 - 8と配布プリントの演習：一言日記と予定表の書き方 英語で日記や予定表を記入する語彙・表現を紹介していきます。	A B
11月27日	教科書Unit12と配布プリントの演習：成績や修得単位に関する語彙・表現	A B
12月4日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
12月11日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
12月18日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
1月8日	e-learning 教材学習テスト 2回目	A B
1月22日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
1月29日	総括	A B
2月5日	期末試験	A